



2012年夏号

地球

男女が共に生きる情報紙 VOL.93



平成23年度 男女共同参画週間パネル展



内閣府:平成24年度「男女共同参画週間」ポスター



JR藤沢駅北口サンパール広場

あなたがいる わたしがいる 未来がある

平成24年度「男女共同参画週間」キャッチフレーズ最優秀作品

もくじ

- 男女共同参画週間
「あなたがいる わたしがいる 未来がある」(平成24年度 男女共同参画週間キャッチフレーズ)
- Move to ふじさわ & We love ふじさわ
- 男女共同参画について ~ある日の海鳴家~
- 我が家の男女共同参画 ~夫として 父として 息子として~
- この夏はここふじさわで世界を感じてみたい
- 審議会等の女性登用状況について
- 編集後記
- インフォメーション

6月23日から29日は、男女共同参画週間です。

今年のキャッチフレーズは『あなたがいる わたしがいる 未来がある』。

これは内閣府が公募2,921点の中から選んだ最優秀作品です。

今年度で11年目を迎える週間ですが、今年は「男女共同参画による日本再生」が重点とされています。

昨年の東日本大震災から一年以上が経過しましたが、今年は各地で竜巻が発生するなど自然災害が続く日本。予測されている首都直下地震が起きた場合、ここ藤沢市も多くの被害を受けることが想定されます。

このような背景から、今後の「男女共同参画」は、ビジネスの分野だけでなく、災害への備えや応急、復興・復旧において、男性はもちろんのこと、女性の視点での参画がますます重要になるのではないのでしょうか。

今年のキャッチフレーズは、男女がそれぞれの個性と能力を発揮し、それが日本再生へとつながるようにという願いが強く込められています。

藤沢市ではこの週間にちなみ、新館ロビーでのパネル展示の他、6月30日に寒川総合体育館に於いて2市1町広域連携事業として『ワーク・ライフ・バランス』をテーマとした講演会が開催されます。

藤沢市の人口が県内4位になりました！

藤沢市の人口は年々増加し、今年4月、横浜市・川崎市・相模原市の3政令市に続き、県内4位となりました。おなじく今年4月に藤沢市の観光親善大使に任命されたつるの剛士さんも、藤沢市民の一人です。

美しい景観と住みやすい環境に加え、子育て支援が充実していることは、この人口増加に大きな影響を与えたといえるでしょう。

災害にも強く、誰もが安心して暮らしていける藤沢市のため、わたしたち市民ひとりひとりが活躍していきたいですね。

(岸田 記)

MOVE to ふじさわ & We love ふじさわ

進級・クラス替えの4月、保護者会などで自己紹介し合う機会がありました。藤沢出身でない方も多いですが、皆さん、藤沢ライフを満喫している様子。なぜ藤沢に住んでいるのか、周りのママさんに、ちょっと詳しく聞いてみました。

藤沢に住み始めたきっかけで多かったのは「夫の転勤」。さらに都内に勤務されていて、藤沢を選んだ人も多く、藤沢は、都内への交通アクセスがいいことに加え、「夫がサーフィンライフを満喫するため結婚を機に」という回答がありました。パートナー(妻)自身も「チューブやサザンオールスターズのファンで音楽を通じて湘南に憧れていました(在住10年)」と夫婦ともども海が身近なこの地域がライフスタイルに合って選ばれた方も多そうです。また関西から転勤で来た人は、茅ヶ崎在住の友人に、藤沢は旧別荘地もあるなど雰囲気がよく、私も住んでみたい場所と勧められたとか。

話をうかがった方には鎌倉、茅ヶ崎などの近隣出身も多く、実家近くで住まいを探していたところ、「藤沢のほうが交通の便がよい(在住9年・鎌倉出身)」と選んだ人もいました。市長さん、近隣出身の方に、藤沢を選んでもらえるのはうれしいですよ(笑)。

また、「藤沢に生活してよかったことは？」との質問に対しては、緑も多く、海に面している湘南エリアならではの理由が、「自然が残っていて、どこかのんびりとした感じで子育てがしやすい」という答えが多かったです。「子どもたちは自然のなかで育ち、花や虫の名前も日常生活のなかで覚えられます。関西に帰省しても、すぐ藤沢に戻りたくなります(笑)(在住10年)」。

一方、「実家は遠いですが、市の子育て支援や子育てサークル

が充実しており、母親学級などでママ友を作ることができたことで、悩みごとを相談でき楽しく育児ができました(在住10年)」、「小児医療費助成制度(*注)で子どもの医療費がかからないこと(在住6か月)」といった子育て支援や、今年度から始まった「家庭ごみを戸別回収してくれること(在住1年半)」など、市の制度が充実している点を挙げる声も。

地域によりますが、「若い世代でなく、昔から住んでいる人も多くバランスがよい(在住5年)」と、近所や公民館での活動など地域のつながりが残っているのも魅力のようです。

他には、「大型ショッピングモールがあり、海はもちろん、鎌倉や箱根などの観光地も近く、リゾート気分とショッピングも両方楽しめる(在住6か月)」、「職場は都内ですが、趣味がサーフィンで藤沢を選びました。仕事のオンとオフの区別がはっきりしており、休日ゆっくり過ごせます(在住10年)」という声もあり、ふむふむ、納得です。

最後に、藤沢在住歴35年で幼少時代から住んでいる人にも聞いてみました。「都内まで辛抱できる通勤時間、自然が身近にあるなど住環境全般においてバランスのよい場所」ととらえ結婚後も藤沢に住んでいるとのこと。

藤沢を語る時、キーワードになるのが「バランスのよさ」のようです。

*0歳から中学校卒業までの子どもがいる家庭の経済的負担を軽減し、小児に対する福祉の増進を図ることを目的とした制度。小学校6年生修了までの子どもの入院及び通院、中学生以上は入院に対する保険診療の自己負担分を助成。ただし、入院時の標準負担額と保険適用外のもの、日本スポーツ振興センターから医療費の給付が受けられる場合は助成対象外。(藤沢市ホームページより引用)

(佐野 記)

男女共同参画というと、なんだか堅苦しく聞こえますが、
普段の生活の中に根付いてきています。
では、ある一家をご紹介します。



～ある日の海鳴家～

海鳴家は藤沢市の海沿いの住宅街に住み始めて、約半世紀がたっていた。今は、海鳴春夫(61歳)喜子(57歳)夫妻と隣家に春夫の母、那津子(85歳)が暮らしている。春夫は会社の定年後、嘱託として勤めているが、退職後の生き方を模索中で、今後できれば地域の人々との繋がりも持ちたいと思っている。仕事も前ほど忙しくなく、家事も一部引き受けている。ゴミ出し、風呂掃除、玄関や庭の掃き掃除など、妻に教えてもらいながら、最近はいづい慣れてきたようだ。町内会の回覧も見ようになり、今度の町内会日帰りツアーに妻と参加してみようかという気になっている。

那津子は高齢ながら息子夫婦が隣に居るとはいえ、一人で暮らしている。多少体調が悪くとも外出し、歩いて買い物をして、人と話すことで元気をもらっているようだ。ずっと一人で家の中にいると物忘れがひどくなりそうで怖いと言う。雨降りの日はしかたなく家に居るが、その時には電話が那津子の必須アイテムとなる。

喜子は近所でパート勤めをしているが、やはり外での人との繋がりはとても大切と思っている。

さて、週末のある日、海鳴夫妻の長女、明子(32歳)の一家がやって来た。明子は夫、山岡正夫(35歳)と、子どもの太郎(1歳)の三人家族で、正夫は太郎の面倒を良く見る。「僕にできない事は母乳が出ないぐらいで、あとは何でもできますよ」と彼は、世に言う「イクメン」かもしれない。

しばらくすると、長男の冬巳(29歳)も婚約者の桜子(30歳)とやってきた。今日はこの二人を囲んでの食事会なのである。桜子は冬巳と会社の同僚で交際2年。桜子は結婚しても仕事は続けたいし、子どもも欲しいので家事と育児と一緒に関わってくれる人が理想だったようで、冬巳ともずいぶん話し合っ、ついに結婚することになった。この二人が仕事と生活の調和をとりつつ、幸せな家庭を築いてほしいし、企業や社会がこんな若い世代をもっとサポートしてくれたらいいのと母の喜子は思う。「もしかしたら、こういう事がワーク・ライフ・バランスというものかしら・・・」と喜子は最近覚えた言葉をつぶやいた。

食事会はお酒も入って、ますます賑やかになっていく。明子は桜子に子どもが授かったら、行政が子育て支援をしっかりとくれるところで暮らしたほうが良いよとアドバイスし、那津子は自身のかつての子育て話を始める。男三人は時々相槌を打ちながら、黙って酒を飲んでいる。喜子は、嫁姑の関係になる桜子とできれば仲良くしたいが、自分もよく那津子と口喧嘩をするので、どうなる事か・・・まあ、成り行きに任せることにする。

それぞれの思いが入り混じり、かくして海鳴家の一日が過ぎていくのであった。 完

(遠藤 記)



我が家の男女共同参画

夫として 父として 息子として

私が生まれた頃の家

私は、戦争が終わって3年経った頃生まれた。父は5年余軍隊に行き、復員して国鉄職員となり、母と結婚した。家族は、父母と私と弟の4人家族。戦後、民主主義になったとはいえ、心の中まではなかなか浸透していなかったのではなからうか。厳格な父が主導した男中心の家父長主義的色合いが濃い家庭であった。

娘が生まれて環境は様変わり

時は流れ、日本経済は繁栄し、生活も豊かになった。我が家も例外ではなかった。私は結婚し、親の近くに住んでいたが、昭和の終わりに長女が誕生した。改めて回りを見回すと、男は私だけになっていた。この辺りから家事や育児に参加するようになった。

当時より子育て支援策は充実

我が家は共稼ぎだったので、娘は生後3ヵ月から保育園に預けた。保育園への娘の送迎は夫婦でやっていたが、私が送って行ったり、迎えに行くことが多かった。また、父に頼んだこともあった。

小学校に入学してからは「学童保育」に預けた。当時は、民間経営で、父母会が運営していたので、親の負担は大きかった。途中で法人化し「児童クラブ」となったので、運営面での負担は無くなった。

「子育てへの社会的支援」という施策面では、私が子育てして

いた当時より大きく前進していると思う。

その後、娘は日本で唯一のサッカーの専門学校へと進み、卒業後は「日本女子サッカーリーグ・なでしこリーグ」の職員として、マネージャーをやっている。「なでしこジャパン」がワールド・カップで金メダルに輝いてからは忙しくなったようだが、好きなサッカーを仕事としてやっているのだから、満足していることと思う。今までのところ、子育ては、うまく行ったといえるだろう。

介護は大変な労力

父は晩年の数年間、車椅子の生活だったので、車椅子を積んで病院へ行ったりした。父が死んでしばらくして、一人暮らしが難しくなった母がやってきて、介護するようになった。食事をきちんと食べさせたり、薬を1日3回決まった時間に飲ませるといこともなかなか困難だった。週に何回か宅配の食事を食べさせたり、デイ・サービスに行ってもらったり、病院に連れて行き、薬局で薬を出してもらって帰ってくる、というようなことをやっていた。施設に預けたりもした。このような母親の介護をやっていたとき、一番困ったことは、介護に時間を取られて十分に仕事が出来ないことだった。男性の介護への参画ということについては、現在でもまだまだ効果ある施策が実施されていないといえる。

さらに介護への支援の施策を充実させて行くことが求められる。

(大山 記)



この夏はここふじさわで世界を感じてみたい

オリンピックのこと

ロンドンオリンピックまで100日を切った。ギリシャでは古式ゆかしく聖火の点灯式が行われ、数日後イギリスに聖火が到着したというニュースがテレビで流れた。

その頃、水泳平泳ぎで立石諒選手が代表に選ばれた瞬間をたまたまつけていたテレビで見た。間違いなく子供が小さかった頃通っていた藤沢のスイミングプールで、隣のレーンをイルカのように泳いでいた少年だ。立派な青年になって画面の中に映っている。

ロンドンオリンピックが急に身近に感じられた。

オリンピックは世界中のすごい人たちが集まる特別な祭典で、試合の勝ち負け、順位、0コマ何秒差か、メダルの数、色などを競い合う、自分とはかけ離れた別世界の話と感じていた矢先だったので、このふじさわとオリンピックへの道が繋がっていたことを実感できて嬉しかった。

カポエイラのこと

最近医者に指摘され、なにかスポーツでも始めなければ・・・できれば自分の内面と向き合えるようなもの、家の近くで習えるものがないと探していたそんな時、友人がやっているあまり耳慣れないスポーツ カポエイラに出会った。藤沢駅近くのスタジオを見学、カポエイラの魅力について講師であるカポエイラ協会コハダ・ジ・コンタス湘南支部長の佐々木岳人さんにお話をうかがった。

カポエイラを語るにはその歴史を抜きには語れない。カポエイラはブラジルの奴隷の



間で支配者に気づかれずに体を鍛え、自分を守るために生まれ発展してきた。ブラジルでは、ヨガや太極拳、気功のように一般的に行われているそうだ。競技や大会に勝ち負けが無いわけではないが、競技自体を大きく包み込む勝敗を超越した調和が必要だそうだ。カポエイラは男女が同じ土俵に立って戦える。女性、子どもだから勝敗に不利ということは断じてない。長い弓のような弦を持つビリンバウという楽器と打楽器パンデイロ等を奏でながら行うダンスではない、実に多彩な動きを持った格闘技だ。



左から ビリンバウ、パンデイロ、アタバキ

いつの間にか自分もカポエイラの魅力に引き込まれていた。初めてから2ヵ月という小学校4年生の少年が、大人に交じって、真剣に練習をしていた。聞くとサッカー少年だそうだ。その少年の動きには、最近の子どもにありがちな不器用さは微塵も

ない。きっと怪我もしにくくなるだろう。

佐々木さんも以前は競技性の高いスポーツの選手だったそうだ。ある時、勝ち負けにこだわることに對して疑問を持った。そしてたどり着いたのがカポエイラだったそうだ。今は日本のカポエイラにとって黎明期、方向性を定める一番大切な時だとレッスンを終え青年の笑顔に戻った佐々木さんがカポエイラの未来について語ってくれた。

今年の夏は、藤沢にいながらにして、スポーツを通して世界を感じることができそうだ。

(川辺 記)



審議会等の女性登用状況について



男女共同参画社会の実現には、政策・方針決定過程への女性の参画の拡大が重要です。「ふじさわ男女共同参画プラン2020」では、「審議会など、市政に対する女性の参画促進」に取り組むべき事業として定めています。(事業番号19)
また、その実態を把握するため、毎年度4月1日を基準日として調査を実施しています。今年度の調査結果は、次のとおりです。

調査結果

1 国へ報告する審議会等の女性登用比率

- ① 目標とする登用比率 30.0%
- ② 2012年4月1日現在の女性登用比率
 - 審議会等の対象数 54機関(2011年67機関) ※1を対象
 - 女性登用比率 **31.6%** ※2011年(33.7%)比 -2.1ポイント

2 市独自の分類における女性登用比率

- ① 女性の目標登用比率 40.0%(2013年まで)、「めざそう値」として42.0%(2016年まで)
- ② 2012年4月1日現在の女性登用比率
 - 審議会等の対象数 235機関(2011年247機関) ※2を対象
 - 女性登用比率 **40.4%** ※2011年(39.9%)比 +0.5ポイント

3 調査対象

- ① 地方自治法による行政委員会等(地方自治法第180条の5)
- ② 法律を根拠として設置する附属機関(地方自治法第201条の3) ※1
- ③ 条例により設置される附属機関(地方自治法第138条の4第3項) ※2
- ④ 要綱、要領等による協議会等
- ⑤ 上記に該当しない、会議・団体、任意の会議、実行委員会等

今年度の「男女共同参画週間」キャッチフレーズの優秀作品に「共に働き 共に生きる ニッポンのチカラ」が選ばれた。様々な分野への女性の進出は進んでいるのだろうか？

我が家に届いた新聞広告に「まだ女性だけの建築会社は不安ですか？」というタイトルが載っていた。まだまだ、建築業界も男社会なのだろう。

しかし、その不安げな心にまっすぐに問いかけているこのタイトルには、男社会で働く女性たちの潔さと覚悟が感じられ、何とも前向きである。

- 藤沢を離れ田舎暮らしを始めた友人から手作りのジャムが届きました。この夏は訪ねようと思っています。(遠藤)
- 金環日食があった朝、交差点で空を見上げる人たちに日頃できない挨拶ができた。地域力が少しUPした気がした。(川辺)
- 夏至が過ぎて夏到来！今年の藤沢市花火大会は夏秋2回の開催です。みなさんはどちらをご覧になりますか？☆(岸田)
- 藤沢在住歴3年半ですが、まだ行っていないスポットがたくさん。この夏は子どもとふじさわ探検してみます。(佐野)
- 新人です。宜しくお願いします。ひまわりの種を約200粒蒔きました。今双葉だが、どうなるかな……(大山)

インフォメーション

勤労市民課からのお知らせ

■ 問合せ先・申込み先

藤沢しごと相談システム運営センター(労働会館内)
TEL.23-8222 FAX.23-8277
(月～土曜日(祝日除く) 9:00～17:00)

■ 申込み

随時受付(定員になり次第締め切り)。電話または来所で。
上記「藤沢しごと相談システム運営センター」へ。

就職支援個別カウンセリング

場所：藤沢市労働会館(藤沢市本町1-12-7)

■ 内 容：就職に向けた相談に個別アドバイスします。
その後、無料でお仕事を紹介します。

■ 日 時：毎週水曜日、土曜日 9:30～16:00
(祝日・祝日翌日は除く)
1人1時間以内

■ 対 象：市内に在住または在勤・在学の就職・転職を
希望する方【各日5名】

※この他にも就職のご相談に応じます。
(火～土曜の祝日・祝日翌日を除く9:00～17:00)
まずはお問い合わせのうえ、お気軽にご来館ください。

親子のための就活セミナー

場所：藤沢市労働会館(藤沢市本町1-12-7)

■ 講 師：宮内 正臣 (みやうち まさおみ)
(キャリアコンサルタント)

- 内 容：①オリエンテーション
②働くことの意義
(ライフプランを立てよう)
③会社が求めるスキル
(コミュニケーションの重要性)
④心と体の磨き方
(親と子、それぞれの役割)
⑤就職活動の心得
(昨今の就職活動状況、資格の取得、
アルバイトからステップアップ)
⑥まとめ

■ 日 時：6月29日(金) 9:30～12:30

■ 対 象：市内に在住または在勤で、ニート、フリーター、
不就労のお子様を持つ家族(本人も可)【30名】

天然ガスがひらく未来



天然ガスは、
クリーン性に優れた
環境負荷の少ない
エネルギーです。

<http://www.tokyo-gas.co.jp/>

エネルギー・フロンティア
TOKYO GAS

かがやけ地球は、
市民の編集員さんの企画・運営によって
年4回発行しています。

編集スタッフ

遠藤 倫子・川辺 裕子・岸田 弥生
佐野 美穂子・大山 賢一

産業版・地産地消の推進で! 会員事業所の繁栄に繋げよう

～新会員募集中～

- 意見要望活動
- 共済制度等の普及推進
- 各種経営相談
- マル経等制度融資の斡旋

藤 沢 商 工 会 議 所

(藤 沢 本 所) 〒251-0052 藤沢市藤沢109番地 湘南NDビル7階
TEL:0466-27-8888 FAX:0466-27-8664
(湘南台支所) 〒252-0804 藤沢市湘南台1-10-6 カルチャー湘南台ビル4階
TEL:0466-44-9261～2 FAX:0466-44-9353

古書・アウトレット本買取と販売

買取 ご不要なもの、お売りください。*一部、買取れない品もあります。
(買取品目)書籍・CD・DVD・ゲームソフトなど
お売りいただく際は身分証明書のご提示をお願いいたします。

お買得 アウトレット本と古書の販売 詳しくは、下記
お買得 稀少 ホームページで

発売後、読者の手に渡らず出版社に在庫されていた未読の本(アウトレット本)を
旧定価の20～80%OFFで販売します。他に珍品や稀少本など古書も扱っています。

藤沢駅(南口)前・有隣堂藤沢店 5階
リブックス藤沢店 ReBOOKS 有隣堂
☎0466 26 1411(有隣堂藤沢店代表番号) ●ホ ム ペ ジ <http://www.yurindo.co.jp/>

ART INAMOTO 株式会社

女性スタッフを中心に細心・斬新・良質なクリエイティブワークを。

Graphic Design・Advertisement・Sales Promotion・Website

グラフィックデザイン
有限会社 アート稲元 www.art-inamoto.co.jp
〒251-0002 藤沢市大鋸 1-9-3 Tel.0466-25-4019